



令和6年度

横浜市幼保小連携推進地区事業
深谷地区 活動報告（俣野保育園・深谷小学校）

★ ★ テーマ ★ ★

子どもの豊かな育ちと学びをつなぐ

幼保小の交流と連携



推進テーマについて



子どもの豊かな育ちと学びをつなぐ幼保小の交流と連携

「幼児期の終わりまで育ってほしい姿」をふまえて

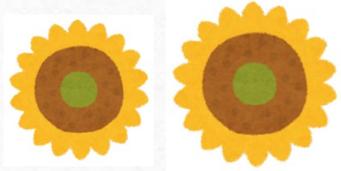
- ★保育園・幼稚園は、どのように学びに向かう力を育む保育・教育を行っているのか
- ★小学校は、どのような支援・指導を行うことで主体的な学びにつなげていくことができるのか

顔が見える関係作り

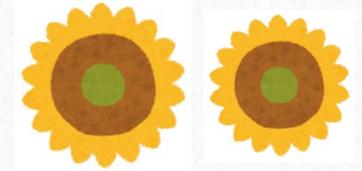
園児・児童の実態を知る

園児・児童の思いを生かした交流

子どもが安心して、のびのびと学ぶことを楽しみ、
人とのかかわりを大切にする主体的な学びに向かうことにつながる

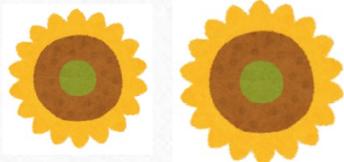


令和6年度の推進内容

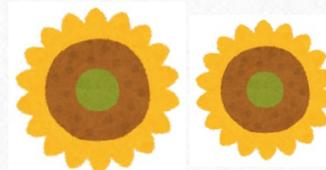


- 幼保小連携推進委員会をもち、推進テーマの確認をし、前年度の取組を踏まえて年間計画を立てる。
- 幼保小連携推進委員会を重ね、研修会や交流を継続することを通して研究内容を深める。
- 研修内容を生かした保育参観、授業参観、授業研究会を行う。
- 過去2年間の成果と課題を踏まえ、目指す児童の姿に近づく。な更なる手立てをとともに考える。





連携推進事業の実際



- 第1回目の交流会では、俣野保育園の年長園児と深谷小学校1年生が、深谷小学校にて、初の顔合わせ交流会を行う。なかま集めゲームなどをして遊んだ後、広い校庭で遊具遊びなどを楽しむ。
- 第2回推進委員会で、交流活動の振り返り、各園・各校の現状についての情報交換・次回以降の交流計画の確認を行う。
- 小学校教員が俣野保育園の保育参観、保育実習をし、アプローチカリキュラムの実際を知る。
- 保育園の運動会を参観するなど、各園・各校の支援・指導、子どもの育ちの様子を知る。
- 第2回目の交流会では、1年生と秋の実などを使った手作りおもちゃで一緒に遊んだ後、園児は校庭での自由遊びをする。
- 第3回目の交流会では、1年生が園児に学校のことを伝えたり学校案内を行ったりする。5年生とカプラや昔遊びなどを一緒に楽しむ。



第1回推進委員会（5月）



- 保育園と小学校の園児・児童の実態や思いについての情報交換
- 第1回目の交流活動に向けて
- 育てたい子どもの姿について意見交換

相互に共有

（保育園の希望意見から・・・）
・昨年度の反省から、最初に緊張がほぐれるような活動を入れる。

◎子どもたちの思いや願いを大切にして
交流活動に取り入れていこう！

第1回目の交流会のようす（6月）

「深谷小へいこうよ！」
なかま集めゲームでなかよくグループになりました。



小学校体育館で、交流を行いました。まずはかみなりゲームから始まり、いろいろなゲームを通して少しずつ緊張がほぐれていきました。年長さんを相手に、優しく声をかけてグループに誘う1年生の姿や、みんなで一緒に鬼ごっこを楽しむ姿がありました。



「さようなら、また会おうね。」
初めての交流会は、互いに少し緊張の面持ちでした。



「こおりおに」
1年生がおにごっこを紹介しました。

保育参観（7月）



保育園での指導の中で、小学校教育に生かせるものを多く発見しました。



小学校の教員が保野保育園の保育参観に行きました。園児の普段の生活の中での学びの姿、保育園のアプローチカリキュラムの実際を知ることができました。小学校でのスタートカリキュラムの参考となる園児の姿、保育のしかたを参観することができ、有意義なものとなりました。



季節の遊びや、安全を守る工夫についても多くの発見がありました。



第2回推進委員会（7月）



- ・昨年度と比べて、すぐに打ち解けて遊んでいる様子が見られた。
- ・初めに体を動かすような活動があったのがよかった。
- ・年長さんは、校庭での自由遊びの時間がもてたことがとてもよかった。
- ・1年生も年長さんを誘いながら遊んだり、グループを作ったりして楽しんでいた。
- ・1年生も年長さんに教えてもらったことが嬉しかった(エビカニクス)

- ・昨年度は時間を持て余してしまったので、制作活動を入れたい。
- ・集めてきた秋の材料で簡単な制作をしたい。

相互の行事参観や打合せ



10月
俣野保育園運動会に校長が参観、
深谷小スポーツフェスティバルに
園長が参観



11月
ZOOMにて第3回交流に向けて打
合せを行いました。
今年度から5年生の交流を新たに
増やし、5年生担任とも打合せを
行いました。

第2回目の交流会のようす① (11月)

1年生が秋探しで集めた落ち葉やどんぐりなどを使った楽しい手作りおもちゃやさんを開店し、園児に買い物を楽しんでもらいました。1回目の交流活動を振り返り、さらに相手意識・目的意識をもった交流会を計画・運営する1年生の成長した姿が見られました。



どんぐりごまやさん



お買い物した材料で、工作もしました。



どんぐり工作やさん



まつぼっくり工作やさん



さかな釣りゲーム



第3回目の交流会のようす（1月）

教室では、ランドセル体験、給食体験など、1年生の生活を体験できるコーナーをつくりました。



国語や算数の教科書をのぞいてみたり、一緒に折り紙を試してみたりなど、園児は小学校生活に期待をふくらませました。



学校探検！
1年生がリードしながら園児を案内し、大満足。案内が難しかったと感じた子もいました。



第3回目の交流会のようす②（1月）

5年生との交流



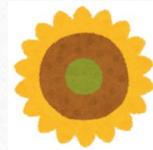
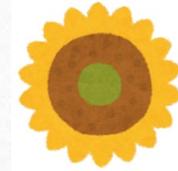
予算で購入したミニ平均台で遊びました。

後半は5年生と自由遊びをしました。家庭科の学習の一環として、来年度のペア学年である5年生が、俣野保育園の子と一緒に遊ぼうという企画を立てました。「だるまさんが転んだ」や「じゃんけん列車」「折り紙」「平均台じゃんけんゲーム」などをして、楽しく過ごしました。





これまで成果と課題



★成果★

- 直接顔を合わせての推進委員会やZoomでの話し合いを行い、子どもの思いや育てたい資質・能力の共有化を図ったり交流計画を具体化したりすることができた。
- 園からの要望に合わせて、交流の中に自由遊びの時間を多く設けることで、交流を楽しみにする様子が見られた。交流を通して、園児は入学への期待が高まり、1年生は自信や自己肯定感が高まった。
- 交流活動や相互参観を重ねたことにより、顔の見える関係を築き、子どもの育ちや学びの実態を知り、接続期のカリキュラム作りに生かすことができた。
- 他学年との交流を組み込んだことで、次年度の進学、進級に対する児童・園児の関心、意欲が高まった。

★課題★

- 年3回の交流のみにとどまっているため、スタートカリキュラム時にも関わりが持てるとよい。
- 園児が小学校に来校しての活動が主であったが、活動の幅を広げ、園の近くの公園に小学生が行き、一緒に遊ぶ活動を入れてもよい。
- 問題解決的な学びがやや不十分である。子どもの思いや願いをもっと引き出し、問題解決ができたときの達成感や成就感を味わうことができるようにし、自分の成長を実感させられるようにしたい。